突出しサイン　アルミフレーム　2011.8

受注生産品

フレキシブルフェース

完成品

小型 FF 突出しサイン

取扱説明書

このたびは当社の製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書は屋外広告業の届出があり、労働安全衛生管理上の知識を有する専門工事施工従事者を対象としています。
- 正しく安全に取り付けして頂き、また安心してご使用頂くためにこの取扱説明書をご熟読の上、手順に従い施工を行ってください。
- 注意事項を守らずに施工された場合は責任を負いかねますのでよくご理解の上、施工管理をお願いします。
- この説明書は、安全維持とメンテナンスのために必要です。大切に保管してください。

説 明 内 容

page
1 守っていただきたい注意点 …… 1
2 製品の概要 …… 2
3 フレキシブルフェース面の展張 …… 3
4 額縁の取り付け …… 5
5 施工について …… 6
6 振れ止め棒の取り付け（正方形タイプのみ） …… 7
7 取り付け高さについて …… 7
8 結線 …… 8
9 シーリング工事 …… 9
10 メンテナンスについて …… 9
11 フレームバリエーション …… 10

1　守っていただきたい注意点

警告表示

⚠ 警告	重大な事故を起こす可能性があります。
⚠ 注意	製品の破損や、けがをする可能性があります。
⃠ 禁止	気をつけていただきたい禁止内容です。
❗ 確認	気をつけていただきたい注意事項です。

❗ 確認　法令で定められた各種の手続き

❗ 確認　現場周辺の交通量の確認と安全確保

❗ 確認　タイプによって、高さ制限を設定しています。（地上より看板天端高さ）高さを超えますと、強風時に看板・面板の破損、脱落の原因になります。
W600・700・800 タイプ……GL10M　正方形タイプ……GL8M

❗ 確認　電装品は 100V 低力率タイプを使用しています。200V では使用できません。
200V の場合は電装品の交換が必要です。
当地の周波数（Hz）と安定器の周波数が合っているか確認してください。
漏電による事故を防ぐため、漏電ブレーカーの設置と防水コンセントを使用してください。

❗ 確認　フレキシブルフェースは、ガムテープ等で仮り止めの後、テンションバーにより確実に固定してください。
フレキシブルフェース、ゆるみ、たるみが生じないように確認してください。

❗ 確認　テンショニング作業には、インパクトドライバーが必要です。

⚠ 注意　保管・運搬時には看板本体の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。
変形や破損の原因となります。

⚠ 注意　換気機能が十分に果たせないため、高温・多湿になる場所や直射日光・風雨にさらされる場所での梱包状態の保管はしないでください。結露の発生や雨水の浸入によるサビ、漏電の原因となります。

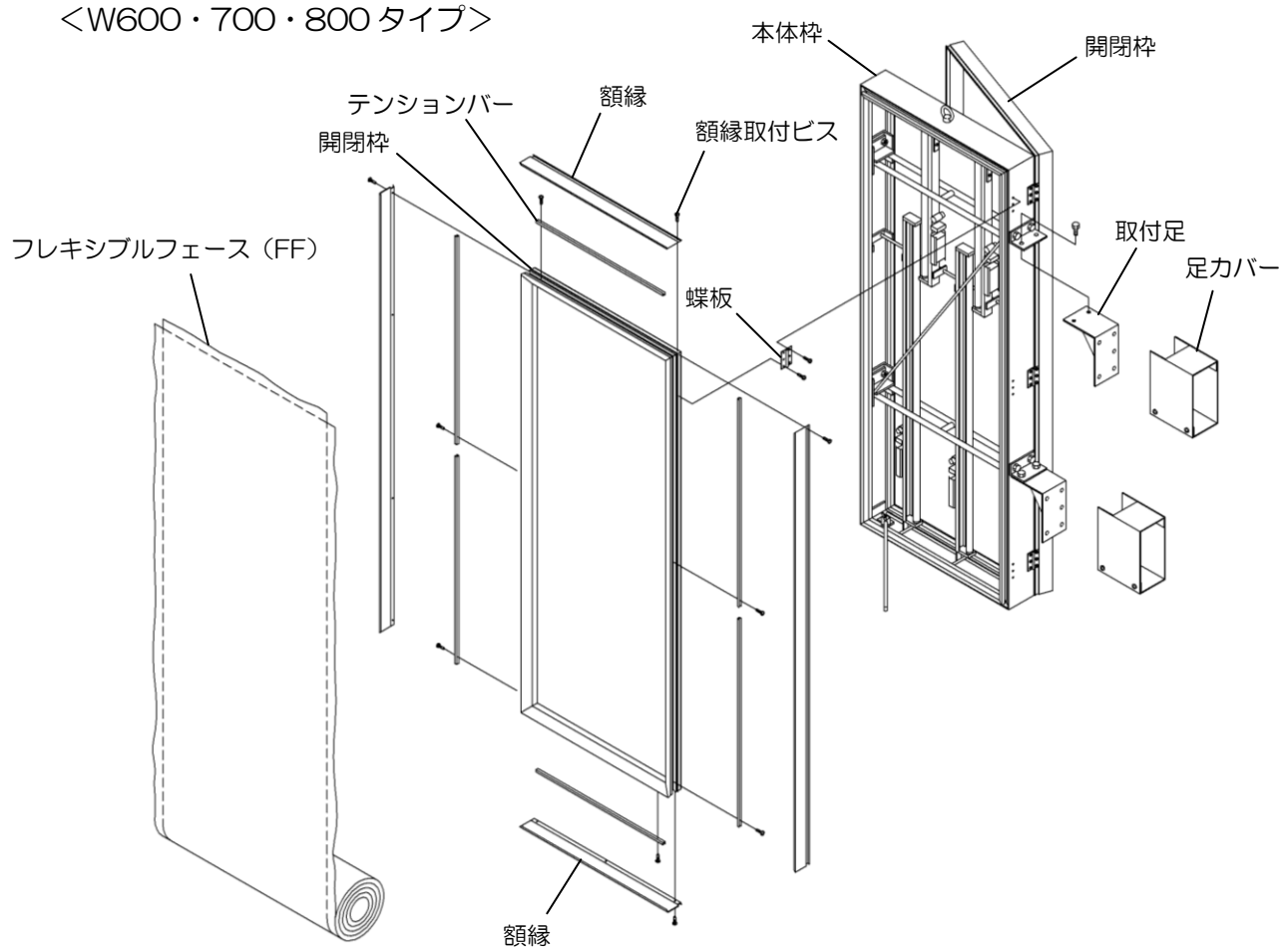
⚠ 警告　看板を取り付ける壁面は、取り付けに耐えうるか確認してください。
(看板の脱落により、事故を起こす原因となります。)

⃠ 禁止　当製品の改造はしないでください。使用条件が異なると安全性の再検討が必要です。

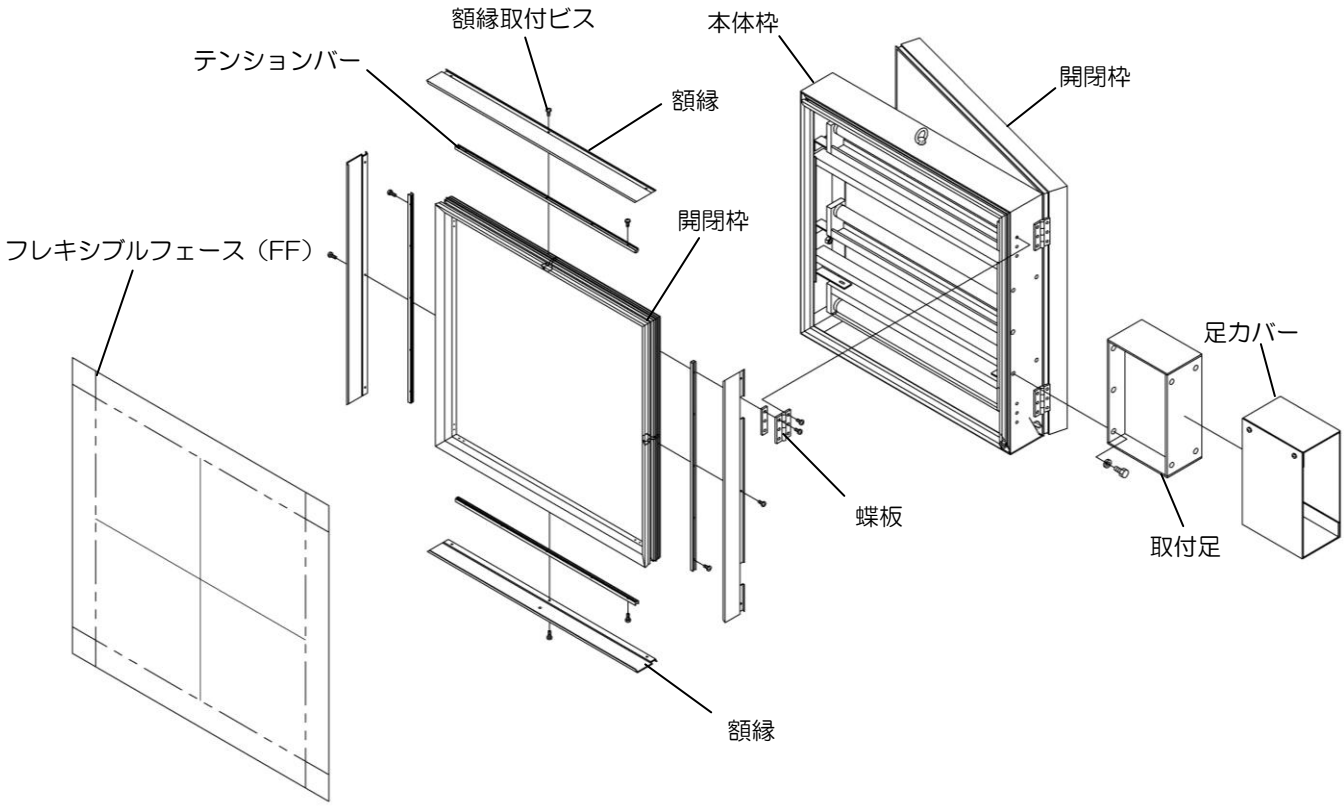
いずれも安全に関する重要な内容です、必ず守ってください。

2　製品の概要

＜W600・700・800 タイプ＞



＜正方形タイプ＞



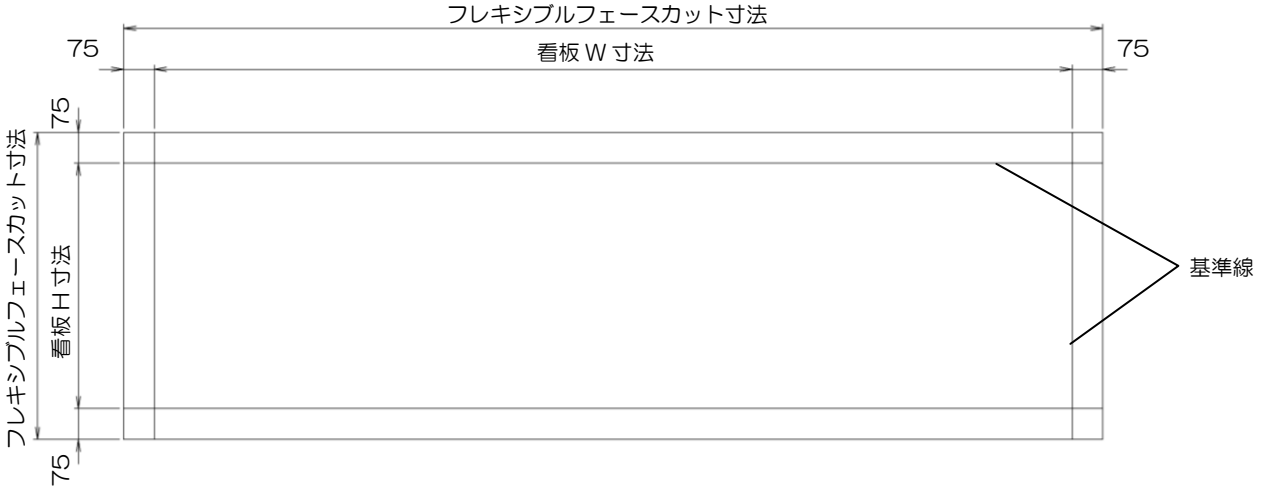
3　フレキシブルフェース面の展張

確認　テンションビス（4×25 ドリルネジ）の挿入は基本的に、下穴加工の必要はありませんが、挿入しづらい場合、ドリル（Φ3.6 程度）にて下穴加工を行ってください。

注意　展張後の開閉枠をひねると、フレキシブルフェースがたわみ、しわの原因になります。

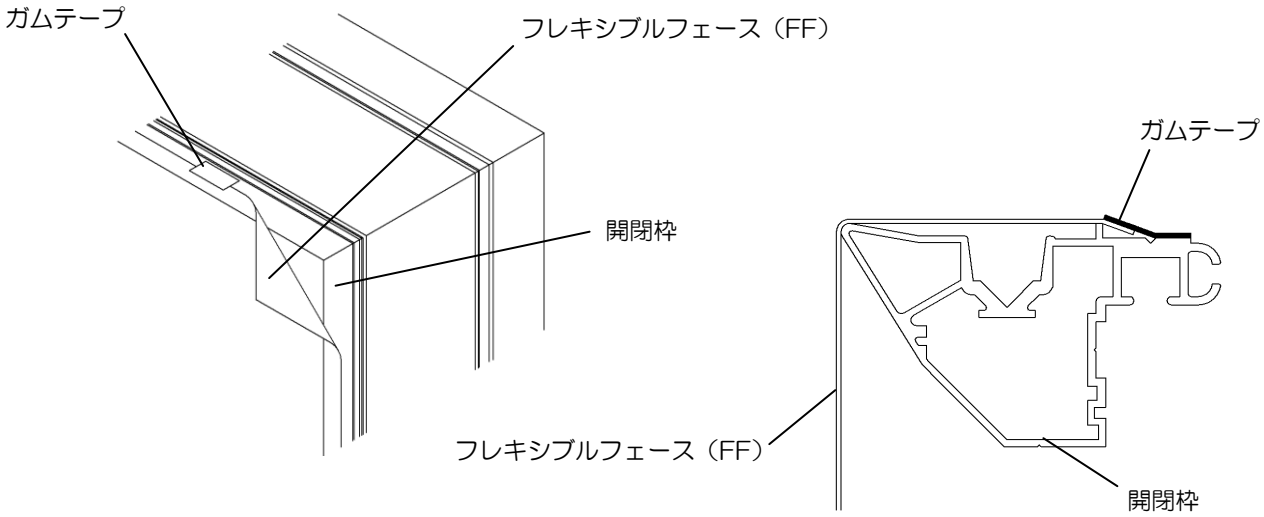
1　基準線の線引き

- フレキシブルフェースの端から周囲 75mmの位置が看板サイズ（基準線）となります。意匠の加工または、テンショニング作業簡略化のため、線引きする事をおすすめします。



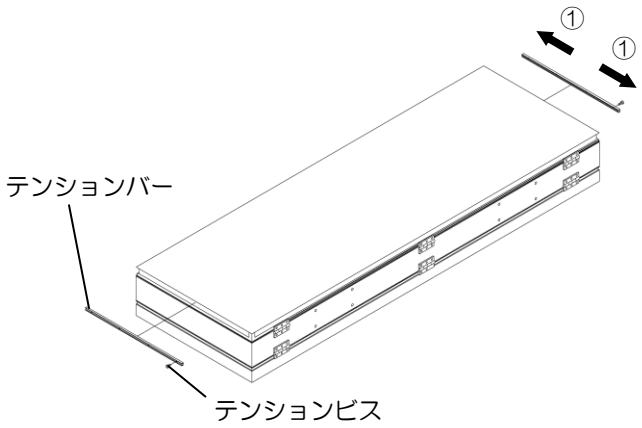
1　仮り止め

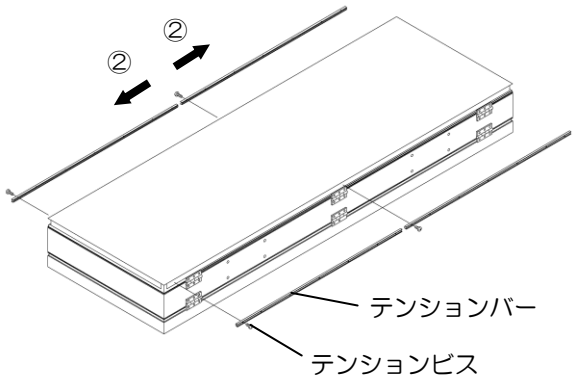
フレキシブルフェースを開閉枠に展開し、ガムテープで周囲を固定します。
この時、ガムテープがテンションバーの挿入部分にかからないようにしてください。



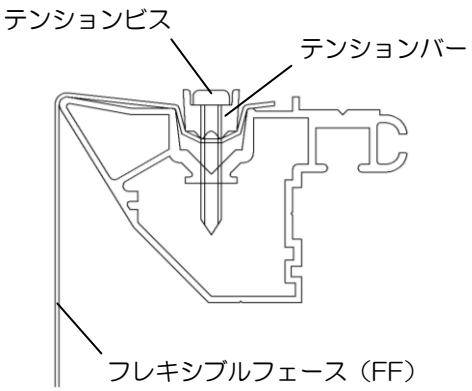
2　仮り締め

短辺側テンションバーのセンターより両サイドへ向かってテンションビス（4×25 ドリルネジ）により仮り締め作業を行います。
完了後、長辺側も同様に行ってください。



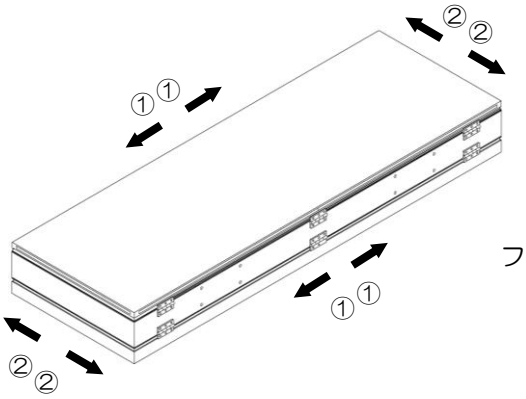


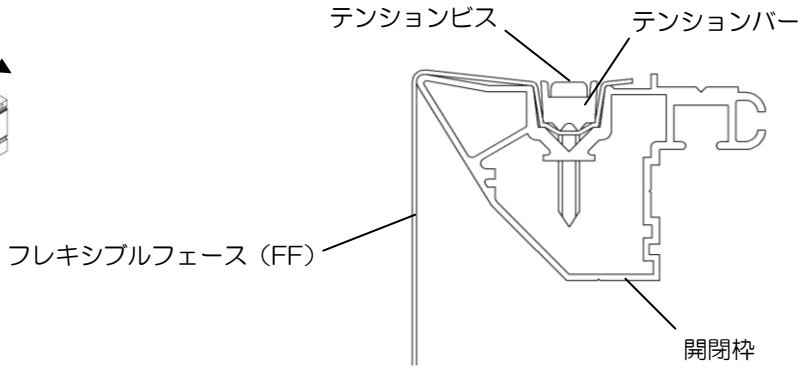
- 仮締めはテンションバー挿入の半分程の位置で止めてください。



3　本締め

長辺側センターより行い、完了後、短編側も同様に行ってください。
=注意= テンションバーが最後まで挿入しきれていない場合、額縁が装着できないこともあります。



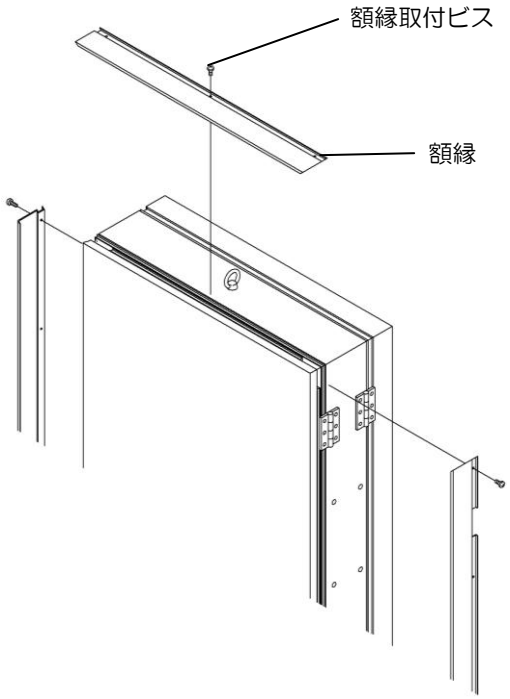


4　カット

額縁取り付けの際、額縁と開閉枠の間にはさみ込まない程度の位置でフレキシブルフェースの端の余り部分をはさみなどでカットしてください。

4　額縁の取り付け

- 額縁を開閉枠の所定の位置にセットし、額縁取付ビス（4×13 ドリルネジ）にて取り付けてください。



5　施工について

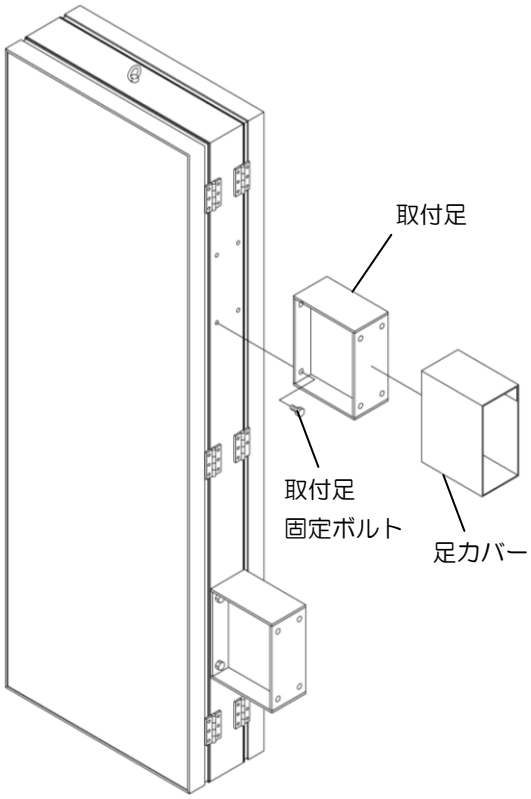
<作業手順>

1. 取付足は、上部より取り付けします。
   取り付ける壁面に対して、墨出しを行い、
   墨に合わせて先に 1 ヶ所仮止めし、
   水平・垂直を確認して他の箇所を止めてください。
   傾きがないかを確認し、全てをしっかりと締めつけます。

2. 下側の取付足も同様に取り付けます。

3. 看板本体の取り付けを行います。付属の取付足固定ボルト
   (M12×35 六角ボルト) にて取り付けてください。
   ※ 足受金取付タイプは、先に看板本体側へ
   足受金を取り付けます。

4. 足カバーをセットします。



⚠ 警告　躯体構造に適したアンカーボルトを使用してください。

- 躯体構造に適さないアンカーボルトを使用した場合、看板本体の落下などが起こり、死亡や重大な事故につながります。

⚠ 警告　アンカーボルトの再使用は絶対にしないでください。

- 今まで使用していたアンカーボルトは経年変化により腐食や劣化が生じている場合が多くあります。躯体側の強度と共に安全性の立証ができません。必ず新規に施工してください。

⚠ 警告　取付足と看板本体を一体に組んで取り付けしないでください。

- 施工に支障が生じ、不確実な施工となり、看板本体の脱落の原因になります。

⚠ 警告　振れ棒の使用

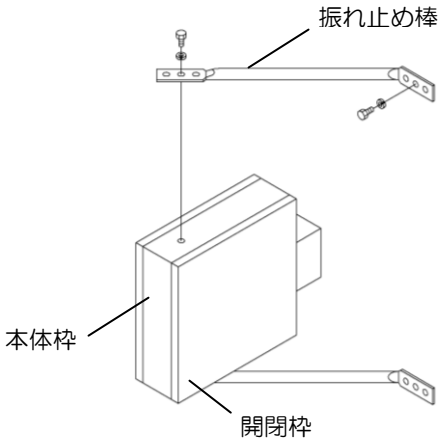
- W600・700・800 タイプは、必要と思われる時、上・下に振れ棒を 1 本ずつとってください。
  （上記タイプには、振れ棒を同梱していません。）
- 正方形タイプは、付属の振れ棒を上・下に 1 本ずつ必ずとってください。

6　振れ止め棒の取り付け（正方形タイプのみ）

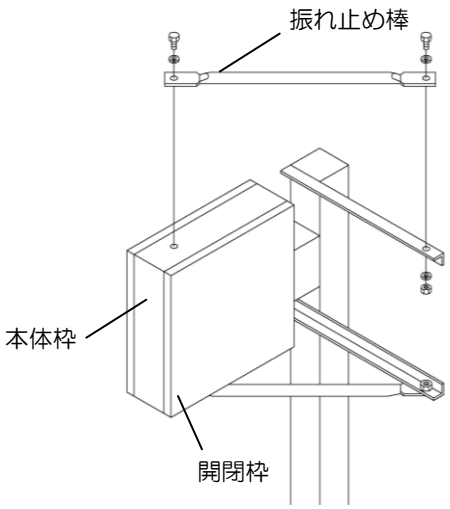
注意　振れ止め棒の取り付けは、開閉枠にはせず、本体枠側へ行ってください。

注意　振れ止め棒の取り付けは、開閉枠の開閉作業時、接触しないことを確認して行ってください。

- 取り付け条件にあった付属の振れ止め棒および、必要本数を使用し、強固に取り付けてください。



建物壁面への取り付け

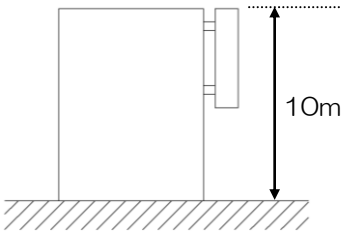


ポールへの取り付け

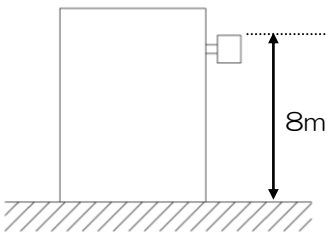
7　取り付け高さについて

看板の取り付け高さは、（W600・700・800 タイプ）は GL10m、（正方形タイプ）は GL8m としてください。

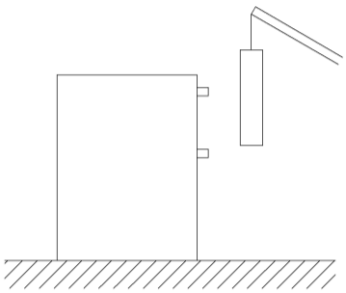
■　袖式



（W600・700・800 タイプ）



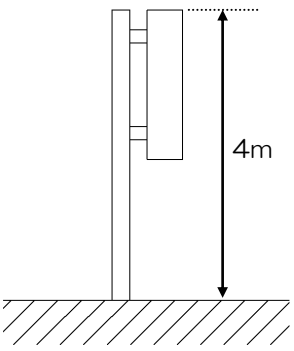
（正方形タイプ）



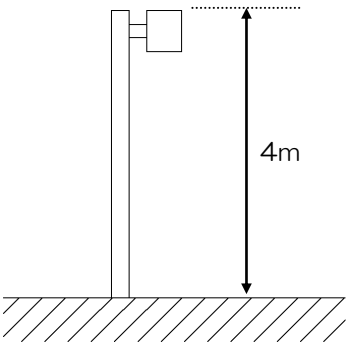
看板取り付けの際は、先に取り付け足を
建物側に固定してから取り付けてください。

■　自立式

看板の取り付け高さは、GL4m としてください。



（W600・700・800 タイプ）



（正方形タイプ）

8　結線

<作業手順>

1. 一次側電源がOFFになっていることを確認し、看板側面より出ている電源コードと一次側電源コードの結線を行います。

2. 一次側電源をONにし、点灯試験を行います。点灯しない場合は、必ず一次側電源をOFFにし、再度結線がされているか確認してください。

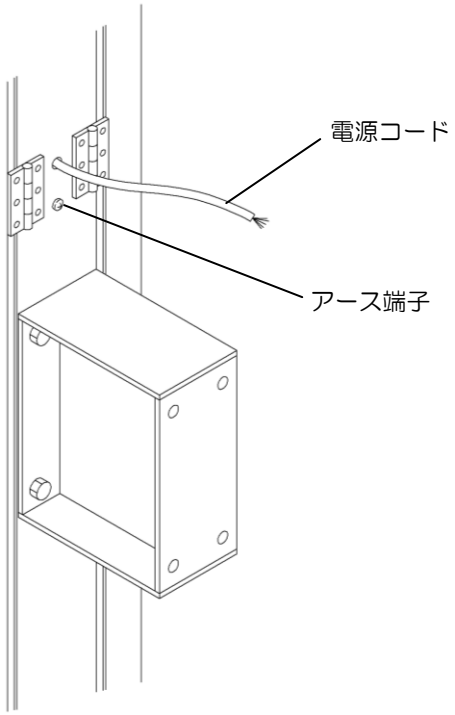
3. 電源コードがフレキシブルフェース面に接しないよう適所ごとに固定してください。

4. フレーム側面にあるアース端子接続用M4ビス（ステンレス）を使用してアースをとってください。

⚠ 警告　結線工事は電気工事士の資格を持った技術者により、電気設備基準に準拠して行ってもらってください。
電線にキズをつけたり挟みこんだ状態で使用すると、漏電・火災の原因となります。

確認　看板への給電は仕様書に基づき、専用の漏電ブレーカーを設置してください。
看板側のトラブルが原因で、看板以外の電気製品に被害を与える場合があります。
また、火災の原因にもなります。

確認　アースは必ず設置してください。
結線終了後は必ず点灯・漏電のチェックを行ってください。

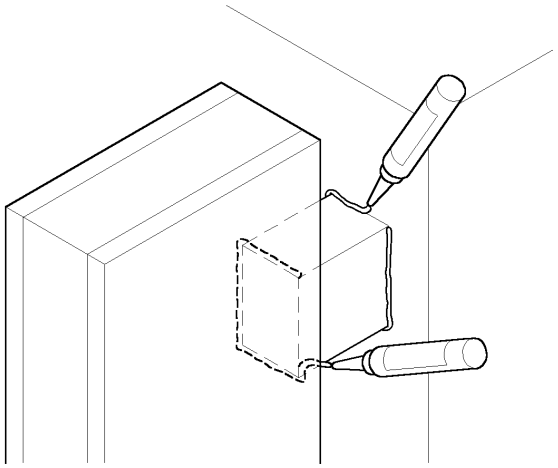


9 シーリング工事

<作業手順>

雨水浸入防止のため、足カバーの看板本体および躯体との取り合い部分はシーリングを行ってください。

⚠ **注意** シーリングが不十分な場合、取り付け足内部に雨水が浸入して内部を腐食させます。



10 メンテナンスについて

蛍光灯の交換について

1. 側面ロックネジをゆるめ開閉枠を開いてください。
2. 支持棒の先端を開閉枠の穴に差し込み、再度蝶ナットを締めつけ、支持棒を固定してください。
3. 蛍光灯は昼光色のランプをお使いください。蛍光灯の交換と同時にグロー球の交換もお勧めします。
4. 支持棒を収納し開閉枠を閉じ、ロックネジで完全に固定してください。

⚠ **警告** 電源を切り、作業を行ってください。

❗ **確認** 作業中、支持棒が外れることがありますので、支持棒へは必要時以外は触れないでください。

⚠ **注意** 開閉枠を扱う作業の場合は、指などをはさみケガをする場合がありますので十分に注意してください。

清掃について

薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布またはスポンジにて、表面の汚れを拭きとってください。

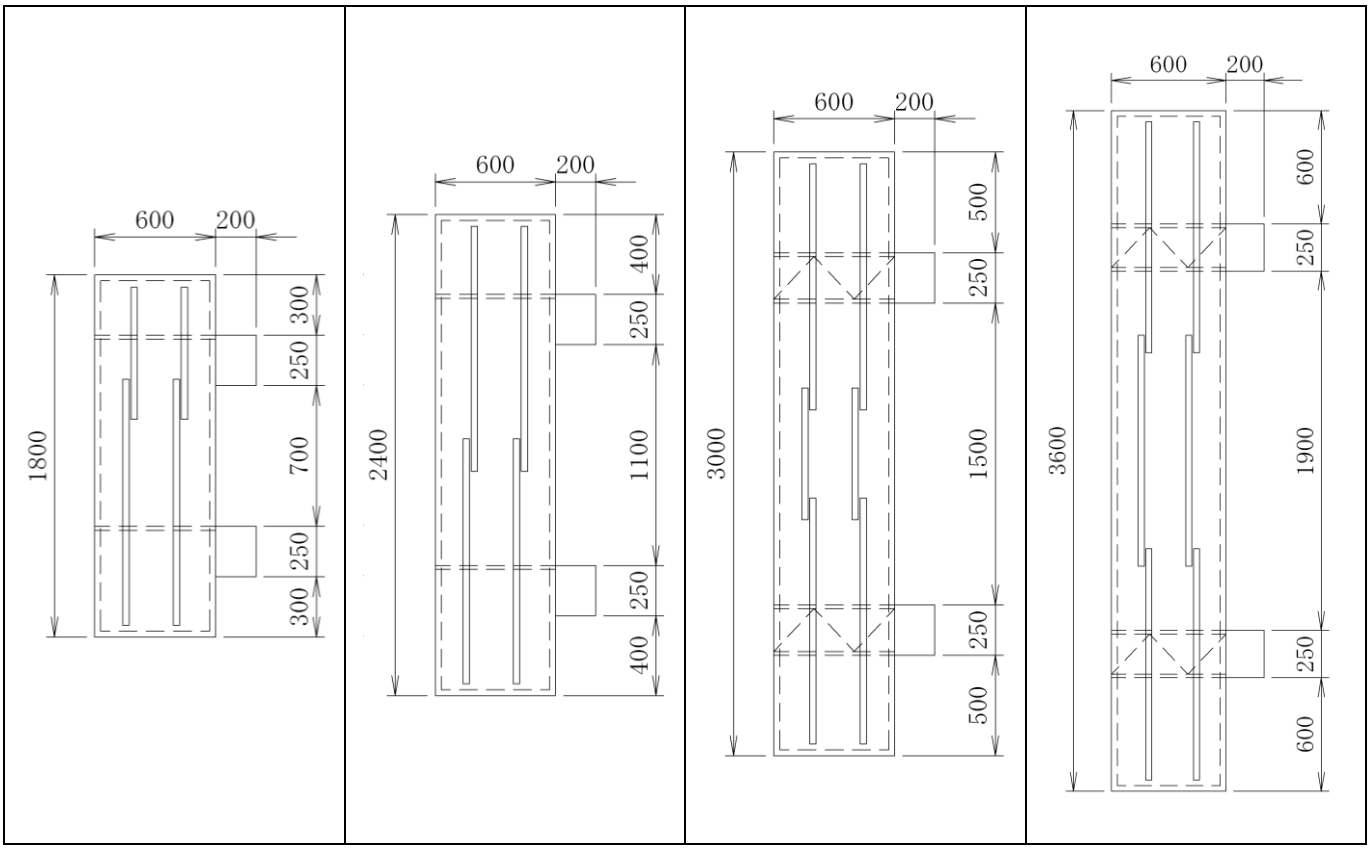
🚫 **禁止** 直接水をかけないでください。漏電の原因となります。

🚫 **禁止** シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

❗ **確認** ユニット内部を清掃する場合は必ず電源を切って作業してください。

11 フレームバリエーション

W600 タイプ



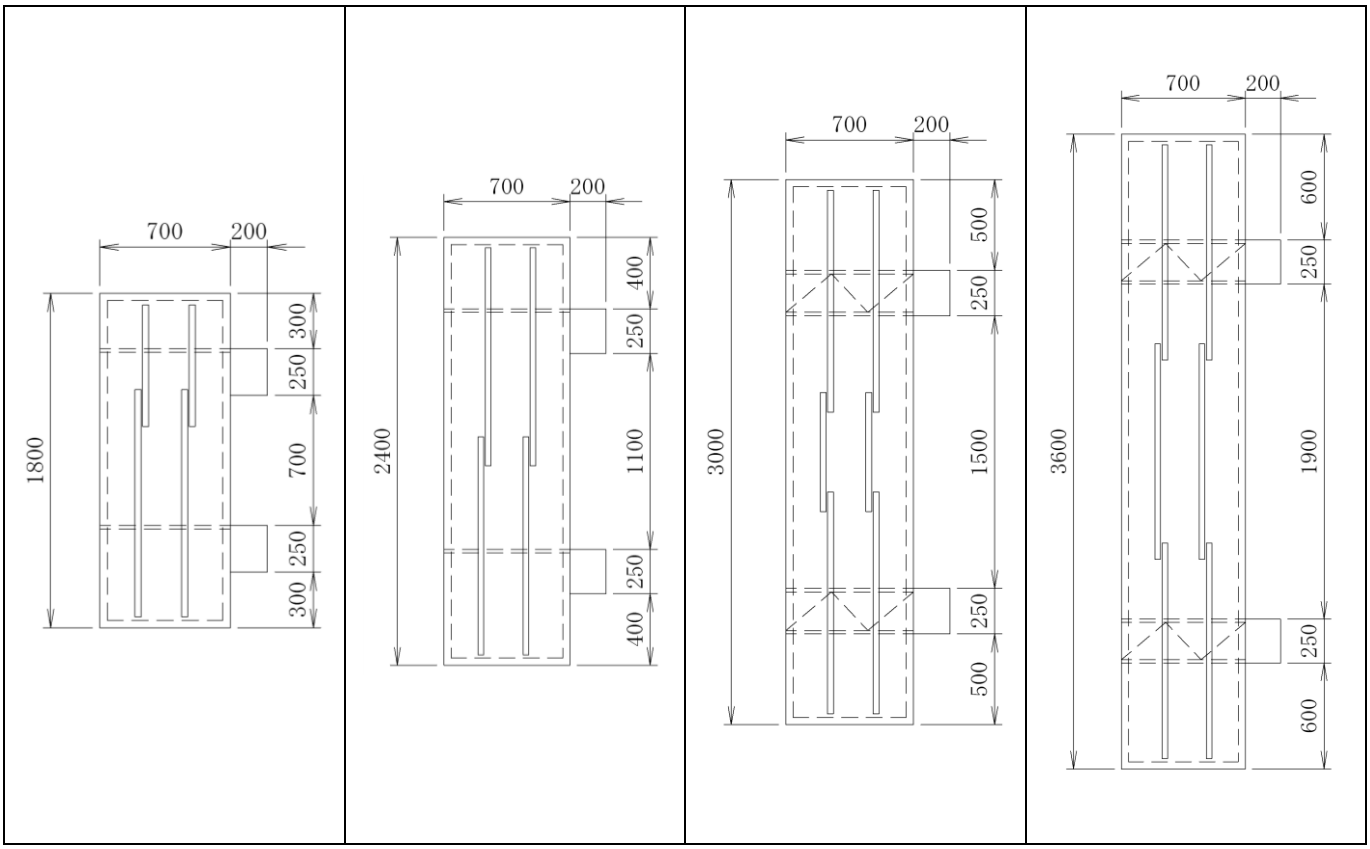
品番 FT0618 (品名 FF618)
W600×H1800×D250

品番 FT0624 (品名 FF624)
W600×H2400×D250

品番 FT0630 (品名 FF630)
W600×H3000×D250

品番 FT0636 (品名 FF636)
W600×H3600×D250

広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装	FL40W×2 FL30W×2	電装	FL40W×4	電装	FL40W×4 FL30W×2	電装	FL40W×6
原稿サイズ	W588×H1788	原稿サイズ	W588×H2388	原稿サイズ	W588×H2988	原稿サイズ	W588×H3588
シートサイズ	W750×H1950	シートサイズ	W750×H2550	シートサイズ	W750×H3150	シートサイズ	W750×H3750
振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし
重量	46.5Kg	重量	54.4Kg	重量	73.6Kg	重量	81.5Kg



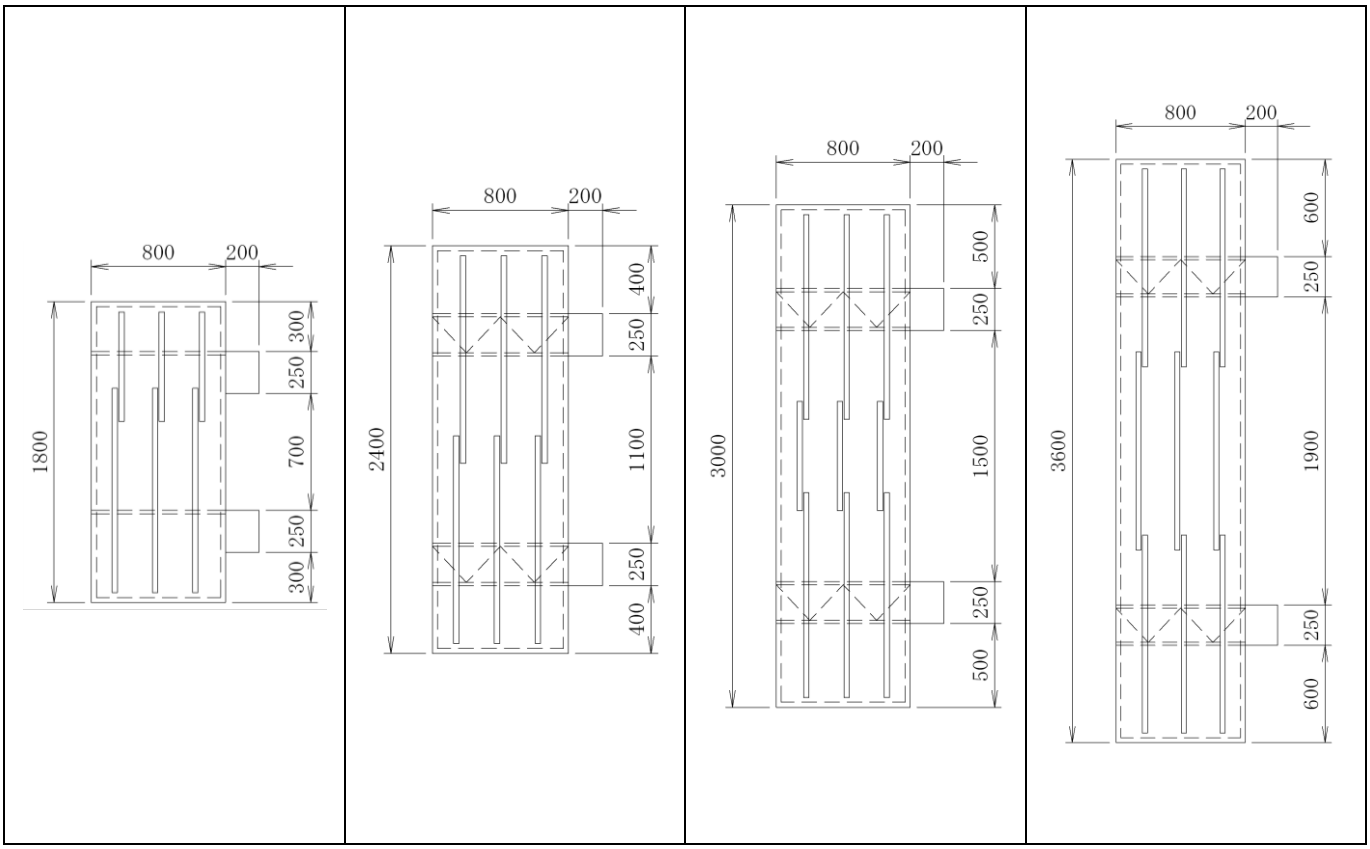
品番 FT0718 (品名 FF718)
W700×H1800×D250

品番 FT0724 (品名 FF724)
W700×H2400×D250

品番 FT0730 (品名 FF730)
W700×H3000×D250

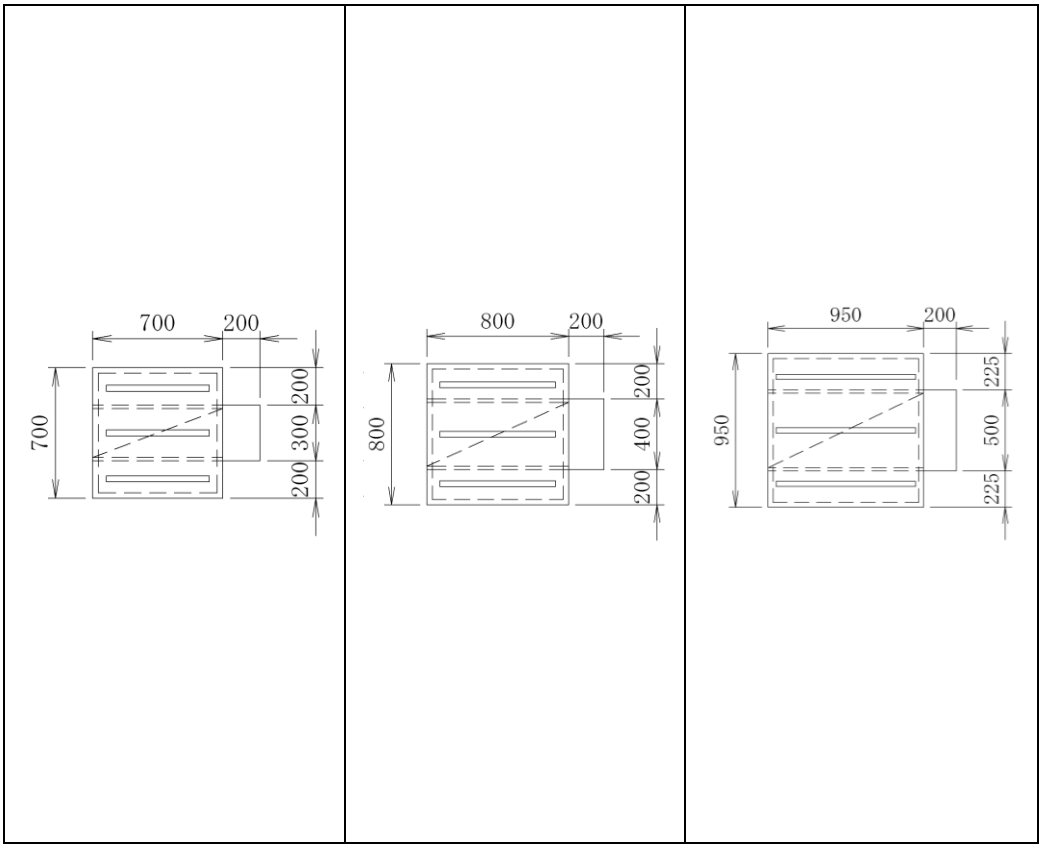
品番 FT0736 (品名 FF736)
W700×H3600×D250

広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装	FL40W×2 FL30W×2	電装	FL40W×4	電装	FL40W×4 FL30W×2	電装	FL40W×6
原稿サイズ	W688×H1788	原稿サイズ	W688×H2388	原稿サイズ	W688×H2988	原稿サイズ	W688×H3588
シートサイズ	W850×H1950	シートサイズ	W850×H2550	シートサイズ	W850×H3150	シートサイズ	W850×H3750
振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし
重量	48.5Kg	重量	56.3Kg	重量	76.3Kg	重量	84.2Kg



品番 FT0818 (品名 FF818)	品番 FT0824 (品名 FF824)	品番 FT0830 (品名 FF830)	品番 FT0836 (品名 FF836)
W800×H1800×D250	W800×H2400×D250	W800×H3000×D250	W800×H3600×D250

広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装	FL40W×3 FL30W×3	電装	FL40W×6	電装	FL40W×6 FL30W×3	電装	FL40W×9
原稿サイズ	W788×H1788	原稿サイズ	W788×H2388	原稿サイズ	W788×H2988	原稿サイズ	W788×H3588
シートサイズ	W950×H1950	シートサイズ	W950×H2550	シートサイズ	W950×H3150	シートサイズ	W950×H3750
振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし	振れ止め棒	なし
重量	53.8Kg	重量	74.2Kg	重量	84.8Kg	重量	92.7Kg



品番 FT0707 (品名 FF707)
W700×H700×D250

品番 FT0808 (品名 FF808)
W800×H800×D250

品番 FT0909 (品名 FF909)
W950×H950×D250

広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）	広告面	FF シート（乳半）
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装	FL20W×3	電装	FL30W×3	電装	FL32W×3
原稿サイズ	W688×H688	原稿サイズ	W788×H788	原稿サイズ	W938×H938
シートサイズ	W850×H850	シートサイズ	W950×H950	シートサイズ	W1100×H1100
振れ止め棒	L1400×2	振れ止め棒	L1400×2	振れ止め棒	L1400×2
重量	31.8Kg	重量	38.1Kg	重量	45.6Kg

●製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。予めご了承下さい。

●製造元

三和サインワークス株式会社

本社・大阪支店 〒530-0001 大阪市北区梅田３−１−３（ノースゲートビルディング１６Ｆ）
TEL（06）6453-3171㈹ FAX（06）6453-3179㈹

東 京 支 店 〒108-6030 東京都港区港南２丁目 15-1（品川インターシティＡ棟 30Ｆ）
TEL（03）5783-3001㈹ FAX（03）5783-3010㈹

福 岡 営 業 所 〒812-0857 福岡市博多区西月隈３丁目 2-13
TEL（092）472-7277㈹ FAX（092）472-7278㈹

京 都 工 場 〒610-0261 京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷 1-44
TEL（0774）99-7702㈹ FAX（0774）99-7712㈹

埼 玉 工 場 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺字宮ノ台 4030（武蔵工場団地内）
TEL（04）2934-5311㈹ FAX（04）2934-5313㈹

電材営業部 東京 〒108-6030 東京都港区港南２丁目 15-1（品川インターシティＡ棟 30Ｆ）
TEL（03）5783-3009㈹ FAX（03）5783-3010㈹

電材営業部 大阪 〒530-0001 大阪市北区梅田３−１−３（ノースゲートビルディング１６Ｆ）
TEL（06）6453-3152㈹ FAX（06）6453-3022㈹

電材つくば工場 〒300-0198 茨城県かすみがうら市加茂 5289-1
TEL（029）828-1615㈹ FAX（029）828-1289㈹

ホームページアドレス
http://www.sanwa-signworks.co.jp/

メールアドレス
info@sanwa-signworks.co.jp

2011.8